□ ISW－083Dコミュニケーションツール

取扱説明書

－第 3 版－

梅 沢 技 研 株 式 会 社

目次

１．概要 1

１－１．概要 1
１－２．主な特徴 1

２.使用方法 2

２－１．コミュニケーションツールのインストール 2
２－２．ツール起動 2
２－３．ＩＳＷ－０８３ＤとＰＣ間の通信設定 3

３.設定方法 5

３－１．モード説明 5
３－２．ユーザー設定 6
３－３．入力切替コマンド設定 15
３－４．入力指定設定 17
３－５．チャンネル別音量設定 19
３－６．メンテナンス設定 21

５.設定ファイル選択/保存 25

５－１．設定ファイルの選択 25
５－２．設定ファイルの保存 27

６．設定送信／設定受信 29

６－１．設定送信 29
６－２．設定受信 31

７．デフォルト設定 34

７－１．デフォルト設定 34

８．ツールの終了 36

８－１．ツールの終了 36

1．概要

1－1．概要

本仕様書は､RGBインテリジェントシステムスイッチャのISW-083Dに対してパソコン(以下PC)より
各種設定を行うためのコミュニケーション･ツールについて記述したものです。

1－2．主な特徴

本ツールの主な機能としては以下の通りです。

（1） 以下の設定カテゴリにて各々の設定が可能です
- ① ユーザー設定 ： お客様にて設定が可能な項目を集約
- ② 入力切替コマンド設定 ： 外部接続機器の入力切替制御コマンドにおける詳細設定
- ③ 入力指定設定 ： スキャンコンバータ使用時の、ＶＩＤＥＯ／ＲＧＢの入力指定の設定
- ④ チャンネル別音量設定 ： 入力チャンネル別音量指定値の設定
- ⑤ メンテナンス設定 ： メンテナンス系の設定

（2） 本ツールにて各種設定を網羅します。

（3） 本ツールにて各種設定ファイルの読出し／書込みが可能です。

（4） 本ツールにてISW-083Dへの設定データ送信／ISW-083Dからの設定データ受信が可能です。

2. 使用方法

2－1．コミュニケーションツールのインストール

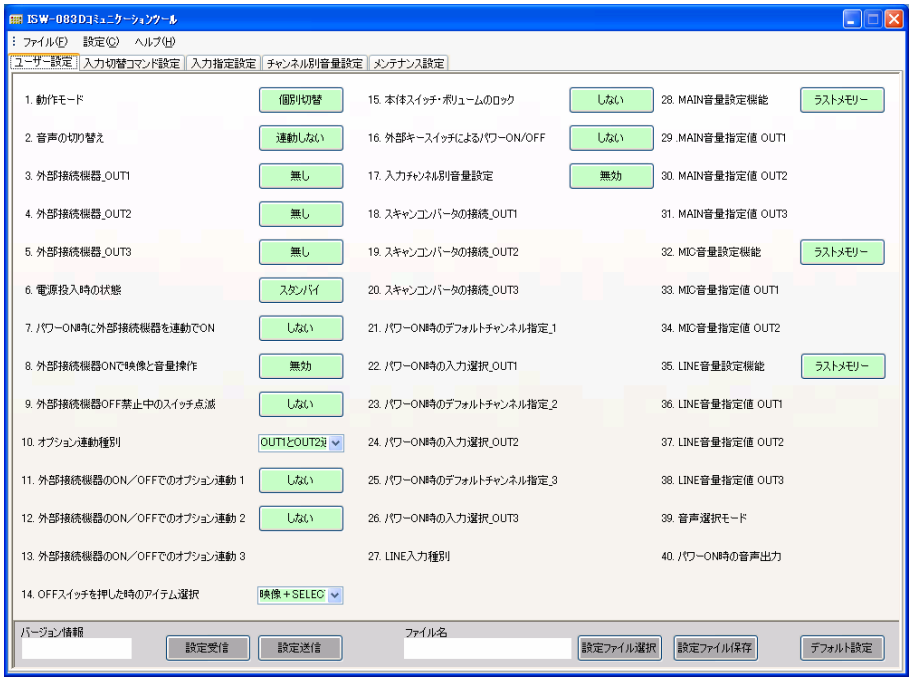
コミュニケーションツールのインストール方法は、「ISW-083Dコミュニケーションツールインストールガイド」をご覧ください。

2－2．ツール起動

（1）デスクトップ上のＩSW－０８３Dコミュニケーションツールのショートカットをダブルクリックして本ツールを起動します。

（2） 下記の様な起動画面が表示されます。

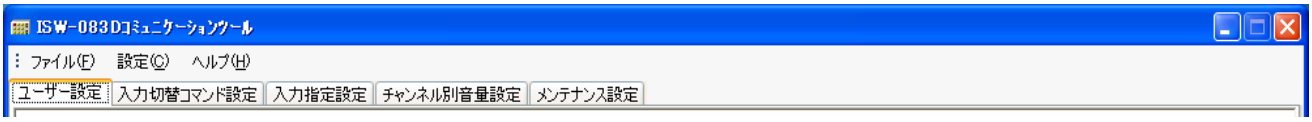
ISW-102Dコミュニケーション・ツール起動画面



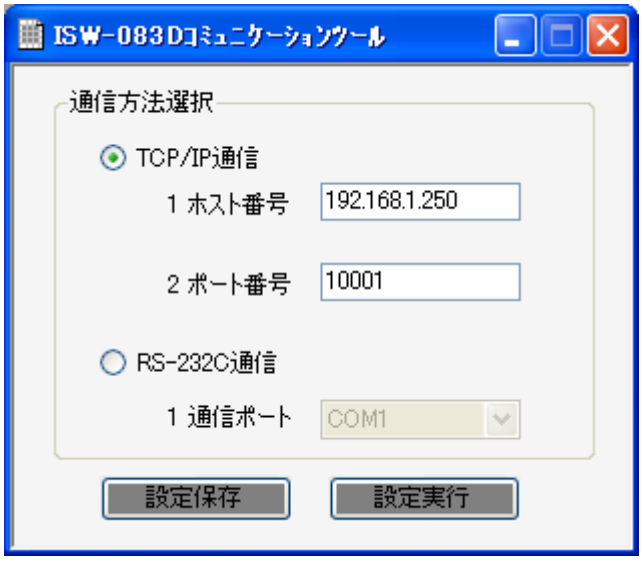
２－３．ＩＳＷ－０８３ＤとＰＣ間の通信設定

概要：
ＩＳＷ－０８３Ｄとコミュニケーションツール（ＰＣ）との通信方法を設定します。

（1）コミュニケーションツール上部の設定ボタンをクリックし、通信方法選択画面を開きます。



通信方法選択画面



（2）通信方法選択

［　ＴＣＰ/ＩＰとＲＳ２３２Ｃ通信　］

①ＴＣＰ/ＩＰとＲＳ２３２Ｃの選択をしてください。

②ＴＣＰ/ＩＰの場合

1．ホスト番号　　ＩＳＷ－０８３Ｄ側のＩＰアドレスを入力してください。
2．ポート番号　　ＩＳＷ－０８３Ｄ側のポート番号を入力してください。

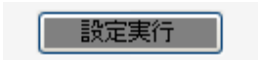
③ＲＳ-２３２Ｃの場合

1．通信ポート　　ＰＣ側のＣＯＭポートを選択してください。

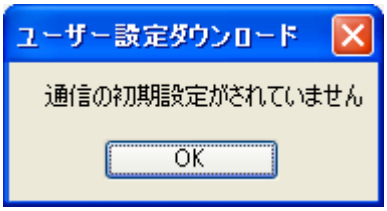
2. 使用方法

（3）設定実行

［　通信方法の実行　］
設定実行ボタンをクリックすることにより、現在の設定で通信を開始することができます。

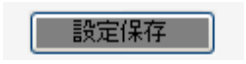


※設定の送受信を行う場合、「設定実行」ボタンが一度も押されていないか、通信設定を保存したファイル「Connect.xml」（インストールの際に作成せれます。）がない場合は下記のメッセージが表示されますので、「設定実行」ボタンをクリックてください。

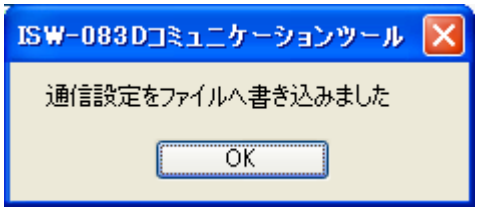


（4）設定保存

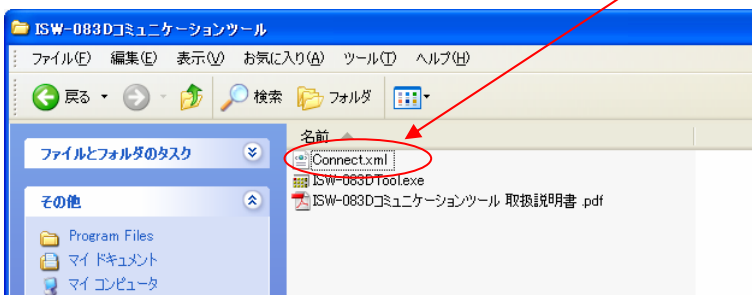
［　通信方法の保存　］
設定保存ボタンをクリックすることにより、現在の設定を保存できます。以降、コミュニケーションツールを起動させた場合に現在の設定を読み込み「設定実行」ボタンをクリックしなくても、設定の送受信が可能です。



ファイル書き込み時のメッセージ



「ISW-083Dコミュニケーションツール」フォルダの「Connect.xml」に上書きされます。フォルダは、インストールの際に「C:¥Program Files」に作成されています。



3. 設定方法

３－１．モード説明

本機には、設定により２つの動作モードがあり、それぞれに特徴があります。

・個別切替モード
・連動切替モード

［ 個別切替モードの特徴 ］

個別切替モードでは、ビデオ映像、ＲＧＢ映像、音声の各信号を個別に切替ることができます。

［ 連動切替モードの特徴 ］

連動切替モードでは、ビデオ映像、ＲＧＢ映像、音声を、選択スイッチにて連動して選択することができます。

※詳細については、「ＩＳＷ－０８３Ｄ 取扱説明書」 参照してください。

［ 設定方法 ］

３－２．ユーザー設定の［ 1.動作モード］から設定してください。

３－２．ユーザー設定

（1）　画面内の各種設定項目を下記に従い選択していきます。

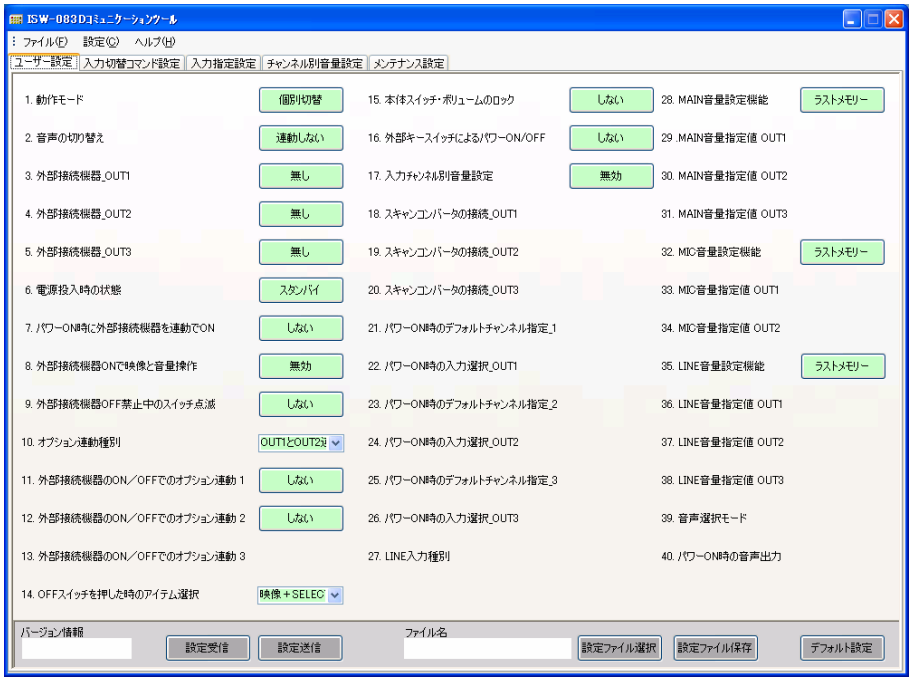
（2）　設定方法

設定ボタンをクリックして該当する設定値を選択します。

尚、ボタンカラーはデフォルト設定値に関してはグリーンで表示、それ以外に関しては、ピンク又は、オレンジで表示されます。

（3）「ユーザー設定」タブをクリックし、ユーザー設定画面を表示させます。

ユーザー設定画面



［　1. 動作モード　］

個別切替　：映像と音声が個別に切替る設定です。

連動切替　：映像と音声が連動して切替る設定です。

※　「個別切替」設定時に下記項目が無効になり、「連動切替」設定時に有効になります。

［ １８～２０．スキャンコンバータの接続_OUT1/OUT2/OUT3 ］

［ ２１．パワーON時のデフォルトチャンネル指定１ ］ 、

［ ２２．パワーON時の入力選択_OUT１ ］

［ ２３．パワーON時のデフォルトチャンネル指定２ ］

［ ２４．パワーON時の入力選択_OUT２ ］

［ ２５．パワーON時のデフォルトチャンネル指定３ ］

［ ２６．パワーON時の入力選択_OUT３ ］

［ ２７．LINE入力種別 ］

［ ３９．音声選択モード ］

3.設定方法

［　２．音声の切り替え　］

連動しない：音声と映像が個別に動作します。

連動する　：映像選択時に連動して音声が切替ります。

※［　１．動作モード　］が「連動切替」設定時に無効になり、「個別切替」設定時に有効になります。

［　３．外部接続機器_ＯＵＴ１　］

無し　：ＯＵＴ１に外部接続機器を接続しない設定です。

有り　：ＯＵＴ１に外部接続機器を接続する設定です。

［　４．外部接続機器_ＯＵＴ２　］

無し　：ＯＵＴ２に外部接続機器を接続しない設定です。

有り　：ＯＵＴ２に外部接続機器を接続する設定です。

［　５．外部接続機器_ＯＵＴ３　］

無し　：ＯＵＴ３に外部接続機器を接続しない設定です。

有り　：ＯＵＴ３に外部接続機器を接続する設定です。

［　６．電源投入時の状態　］

スタンバイ　：電源投入時にスタンバイ状態になる設定です。

パワーオン　：電源投入後、直ぐにパワーＯＮする設定です。（スタンバイ状態がなくなります）

［　７．パワーＯＮ時に外部接続機器を連動でＯＮ　］

しない　：パワーＯＮスイッチを押した時に、本機のみ起動する設定です。

する　　：パワーＯＮスイッチを押した時に、本機と外部接続機器が連動して起動する設定です。

［　８．外部機接続機器ONで映像と音量操作　］

無効　　：ＰＯＷＥＲスイッチON時に映像と音量の操作ができる設定です。

有効　　：ＤＩＳＰＬＡＹスイッチON時（外部機接続機器のパワーON時）に映像と音量の操作ができる設定です。

※「有効」に設定した場合[１４．ＯＦＦスイッチを押した時のアイテム選択]が無効になります。

［　９．外部接続機器ＯＦＦ禁止中のスイッチ点滅　］

しない　：ＤＩＳＰＬＡＹスイッチON時（外部機接続機器のパワーON時）からＯＦＦ禁止時間中に本体ＤＩＳＰＬＡＹスイッチが点滅せずに点灯表示する設定です。

する　　：ＤＩＳＰＬＡＹスイッチON時（外部機接続機器のパワーON時）から外部接続機器がＯＦＦ禁止時間中に本体ＤＩＳＰＬＡＹスイッチが点滅表示する設定です。

［　１０．オプションスイッチ連動種別　］

外部接続機器のON／ＯＦＦとオプションスイッチを連動させる設定です。

ＯＵＴ１とＯＵＴ２連動　：ＯＵＴ１とＯＵＴ２をオプション連動する設定です。

ＯＵＴ１とＯＵＴ３連動　：ＯＵＴ１とＯＵＴ３をオプション連動する設定です。

ＯＵＴ２とＯＵＴ３連動　：ＯＵＴ２とＯＵＴ３をオプション連動する設定です。

３台連動　：ＯＵＴ１、ＯＵＴ２、ＯＵＴ３をオプション連動する設定です。

［　１１．外部接続機器のON/ＯＦＦでのオプション連動１　］

しない　：外部接続機器ＯＵＴ１のON/ＯＦＦをオプションスイッチに連動させない設定です。

する　　：外部接続機器ＯＵＴ１のON/ＯＦＦをオプションスイッチに連動させる設定です。

［　１２．外部接続機器のON/ＯＦＦでのオプション連動２　］

しない　：外部接続機器ＯＵＴ２のON/ＯＦＦをオプションスイッチに連動させない設定です。

する　　：外部接続機器ＯＵＴ２のON/ＯＦＦをオプションスイッチに連動させる設定です。

［　１３．外部接続機器のON/ＯＦＦでのオプション連動３　］

しない　：外部接続機器ＯＵＴ３のON/ＯＦＦをオプションスイッチに連動させない設定です。

する　　：外部接続機器ＯＵＴ３のON/ＯＦＦをオプションスイッチに連動させる設定です。

［　１４．ＯＦＦスイッチを押した時のアイテム選択　］

本体ＯＦＦスイッチを押した時に、同時にＯＦＦ選択されるアイテムの設定です。

映像＋ＳＥＬＥＣＴボリューム　　：

映像＋ＳＥＬＥＣＴボリューム＋ＬＩＮＥボリューム　：

映像＋ＳＥＬＥＣＴボリューム＋ＬＩＮＥボリューム＋ＭＩＣ：

［　１５．本体スイッチ・ボリュームのロック　］

しない　：本体スイッチとボリュームの操作が可能な設定です。

する　　：本体スイッチとボリュームの操作をロック（操作不可に）する設定です。

※「する」に設定した場合のロック一時解除の仕方は、「ＩＳＷ－０８３Ｄ 取扱説明書」 参照してください。

［　１６．外部キースイッチによるパワーON/ＯＦＦ　］

しない　：外部キースイッチ使用時、外部キースイッチで、本体をON/ＯＦＦ制御しない設定です。

する　　：外部キースイッチ使用時、外部キースイッチで、本体をON/ＯＦＦ制御する設定です

［　１７．入力チャンネル別の音量設定　］

無効　　：入力チャンネル別の音量設定を無効にする設定です。

有効　　：入力チャンネル別の音量設定を有効にする設定です。

［ １８．スキャンコンバータの接続_ＯＵＴ１ ］

無し　　：ＯＵＴ１のスキャンコンバータ接続を無しにする設定です。

ＵＰ　　：ＯＵＴ１のアップコンバータ接続を有りにするする設定です。

ＤＯＷＮ：ＯＵＴ１のダウンコンバータ接続を有りにするする設定です。

※「ＵＰ」/「ＤＯＷＮ」選択時に「入力指定設定」が有効になります。

［ １９．スキャンコンバータの接続_ＯＵＴ２ ］

無し　　：ＯＵＴ２のスキャンコンバータ接続を無しにする設定です。

ＵＰ　　：ＯＵＴ２のアップコンバータ接続を有りにする設定です。

ＤＯＷＮ：ＯＵＴ２のダウンコンバータ接続を有りにする設定です。

※「ＵＰ」/「ＤＯＷＮ」選択時に「入力指定設定」が有効になります。

［ ２０．スキャンコンバータの接続_ＯＵＴ３ ］

無し　　：ＯＵＴ３のスキャンコンバータ接続を無しにする設定です。

ＵＰ　　：ＯＵＴ３のアップコンバータ接続を有りにする設定です。

ＤＯＷＮ：ＯＵＴ３のダウンコンバータ接続を有りにする設定です。

※「ＵＰ」/「ＤＯＷＮ」選択時に「入力指定設定」が有効になります。

［ ２１．パワーON時のデフォルトチャンネル指定_１ ］

ラストメモリー　：電源投入時の入力ＣＨを前回選択していたＣＨにする設定です。

指定ＣＨ　　：電源投入時の入力ＣＨをＯＦＦ～ＣＨ８のいづれかにする設定です。

※「指定ＣＨ」選択時に［ ２２．パワーON時の入力選択_ＯＵＴ１ ］が有効になります。

［ ２３．パワーON時の入力選択_ＯＵＴ１ ］

〈設定方法〉
設定欄の右端にある下矢印をクリックして中から該当設定値を選択してください。
尚、設定欄カラーはデフォルト設定値に関してはグリーンで表示、それ以外に関してはピンクで表示されます。

※［ ２１．パワーON時のデフォルトチャンネル指定_１ ］が「指定ＣＨ」選択時に有効になります。

［ ２４．パワーON時のデフォルトチャンネル指定_２ ］

ラストメモリー　：電源投入時の入力ＣＨを前回選択していたＣＨにする設定です。

指定ＣＨ　　：電源投入時の入力ＣＨをＯＦＦ～ＣＨ８のいづれかにする設定です。

※「指定ＣＨ」選択時に［ ２４．パワーON時の入力選択_ＯＵＴ２ ］が有効になります。

［ ２５．パワーON時の入力選択_ＯＵＴ２ ］

〈設定方法〉
設定欄の右端にある下矢印をクリックして中から該当設定値を選択してください。
尚、設定欄カラーはデフォルト設定値に関してはグリーンで表示、それ以外に関してはピンクで表示されます。

※［ ２３．パワーON時のデフォルトチャンネル指定_２ ］が「指定ＣＨ」選択時に有効になります。

［ ２６．パワーON時のデフォルトチャンネル指定_３ ］

ラストメモリー　：電源投入時の入力を前回選択していたＣＨにする設定です。

指定ＣＨ　：電源投入時の入力ＣＨをＯＦＦ～ＣＨ８のいづれかにする設定です。

※「指定ＣＨ」選択時に［ ２６．パワーON時の入力選択_ＯＵＴ３ ］が有効になります。

［ ２７．パワーON時の入力選択_ＯＵＴ３ ］

〈設定方法〉
設定欄の右端にある下矢印をクリックして中から該当設定値を選択してください。
尚､設定欄カラーはデフォルト設定値に関してはグリーンで表示､それ以外に関してはピンクで表示されます。

※［ ２５．パワーON時のデフォルトチャンネル指定_３ ］が「指定ＣＨ」選択時に有効になります。

［ ２８．ＬＩＮＥ入力種別 ］

ＬＩＮＥ入力　：　ＯＵＴ１～３の出力全てにＬＩＮＥ音声が出力される設定です。

ＩＮ１６使用　：　ＯＵＴ１～３の出力毎に独立した音量を出力する設定です。

※［ １．動作モード ］が「連動切替」選択時に有効になります。

「ＩＮ１６」選択時に［ ３７．ＬＩＮＥ入力音量指定値 ＯＵＴ２ ］、
［ ３８．ＬＩＮＥ入力音量指定値 ＯＵＴ３ ］が有効になります。

［ ２９．ＭＡＩＮ音量指定機能 ］

ラストメモリー　：電源投入時のＭＡＩＮ音量を、前回選択していた音量にする設定です。

指定値　：電源投入時のＭＡＩＮ音量を、３２段階（0 ～ ＦＦ（３１））で指定する設定です。

※ 「指定値」選択時に［ ２９．ＭＡＩＮ音量指定値_ＯＵＴ１ ］、
［ ３０．ＭＡＩＮ音量指定値_ＯＵＴ２ ］、
［ ３１．ＭＡＩＮ音量指定値_ＯＵＴ３ ］が有効になります。

［ ３０．ＭＡＩＮ音量指定値_ＯＵＴ１ ］
［ ３１．ＭＡＩＮ音量指定値_ＯＵＴ２ ］
［ ３２．ＭＡＩＮ音量指定値_ＯＵＴ３ ］

〈設定方法〉
設定欄の右端にある矢印をクリックして指定値の上げ下げを行ってください。
尚、設定欄カラーはデフォルト設定値に関してはグリーンで表示、それ以外に関してはピンクで表示されます。

※［２８．ＭＡＩＮ音量指定機能 ］が「指定値」選択時に有効になります。

［ ３３．ＭＩＣ音量指定機能 ］

ラストメモリー　：電源投入時のＭＩＣ音量を、前回選択していた音量にする設定です。

指定値　　：電源投入時のＭＩＣ音量を、３２段階（0 ～ ＦＦ（３１））で指定する設定です。

※「指定値」選択時に［ ３３．ＭＩＣ音量指定値_ＯＵＴ１ ］ 、
［ ３４．ＭＩＣ音量指定値_ＯＵＴ２ ］ が有効になります。

［ ３４．ＭＩＣ音量指定値_ＯＵＴ１ ］
［ ３５．ＭＩＣ音量指定値_ＯＵＴ２ ］

〈設定方法〉
設定欄の右端にある矢印をクリックして指定値の上げ下げを行ってください。
尚、設定欄カラーはデフォルト設定値に関してはグリーンで表示、それ以外に関してはピンクで表示されます。

※［ ３２．ＭＩＣ音量指定機能 ］が「指定値」選択時に、が有効になります。

［ ３５．ＬＩＮＥ音量指定機能 ］

ラストメモリー　：電源投入時のＬＩＮＥ音量を、前回選択していた音量にする設定です。

指定値　：電源投入時のＬＩＮＥ音量を、３２段階（0 ～ ＦＦ（３１））で指定する設定です。

※「指定値」選択時に［ ３６．ＬＩＮＥ音量指定値_ＯＵＴ１ ］ が有効になります。
［ １．動作モード ］が「連動切替」、［ ２７．LINE入力種別 ］が「IN16」選択時に
［ ３７．ＬＩＮＥ音量指定値_ＯＵＴ２ ］ ［ ３８．ＬＩＮＥ音量指定値_ＯＵＴ３ ］が有効になります。

［ ３６．ＬＩＮＥ音量指定値_ＯＵＴ１ ］
［ ３７．ＬＩＮＥ音量指定値_ＯＵＴ２ ］
［ ３８．ＬＩＮＥ音量指定値_ＯＵＴ３ ］

〈設定方法〉
設定欄の右端にある矢印をクリックして指定値の上げ下げを行ってください。
尚､設定欄カラーはデフォルト設定値に関してはグリーンで表示､それ以外に関してはピンクで表示されます。

※［ ３５．ＬＩＮＥ音量指定機能 ］が「指定値」選択時に、
「 ３６．ＬＩＮＥ音量指定値_ＯＵＴ１」が有効になります。
［ １．動作モード ］が「連動切替」、［ ２７．LINE入力種別 ］が「IN16」選択時に
「 ３７．ＬＩＮＥ音量指定値_ＯＵＴ２ 」、「３８．ＬＩＮＥ音量指定値_ＯＵＴ３」が有効になります。

［ ３９．音声選択モード ］

出力する映像別に音声出力を切替える　：音声出力が独立切替するモードです。[デフォルト]

全ての音声出力の入力選択をＯＵＴ映像指定で切替える
：選択した映像音声がＯＵＴ１～３の全ＯＵＴに出力する設定です。ロータリーエンコーダーを押す毎に
ＯＵＴ映像音声が指定され、各ＯＵＴで選択中の映像音声がの全ＯＵＴに出力します。

［ ４０．パワーON時の音声出力 ］

ラストメモリー　：　パワーON時に音声選択がラストメモリーを選択します。
ＯＵＴ１　：　パワーON時に音声選択がＯＵＴ１を選択します。
ＯＵＴ２　：　パワーON時に音声選択がＯＵＴ２を選択します。
ＯＵＴ３　：　パワーON時に音声選択がＯＵＴ３を選択します。

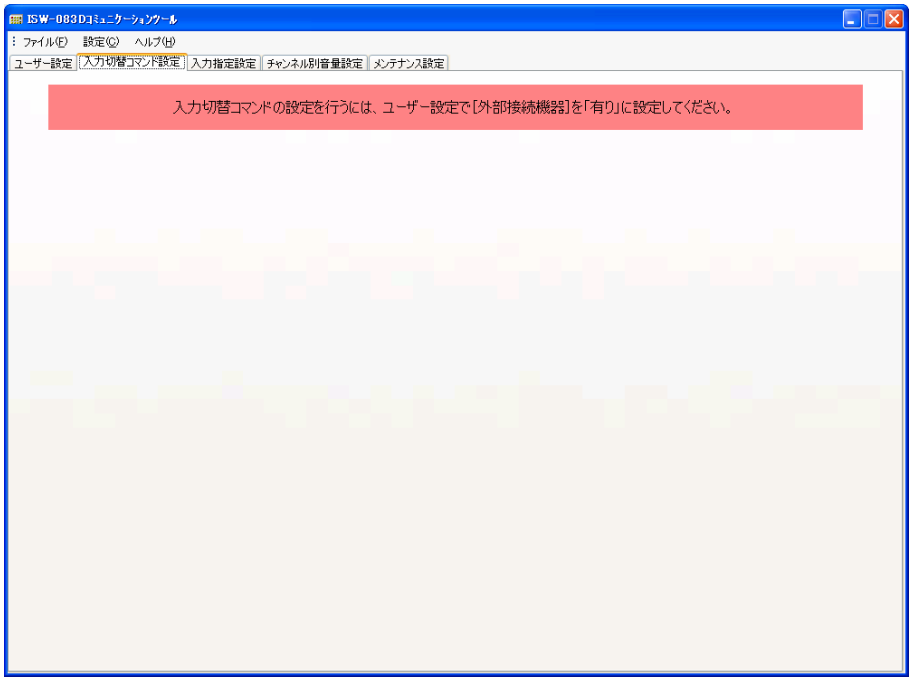
※［ ３９．音声選択モード]が「全ての音声出力の入力選択をＯＵＴ映像指定で切替える 」選択時
に有効になります。

３－３．入力切替コマンド設定

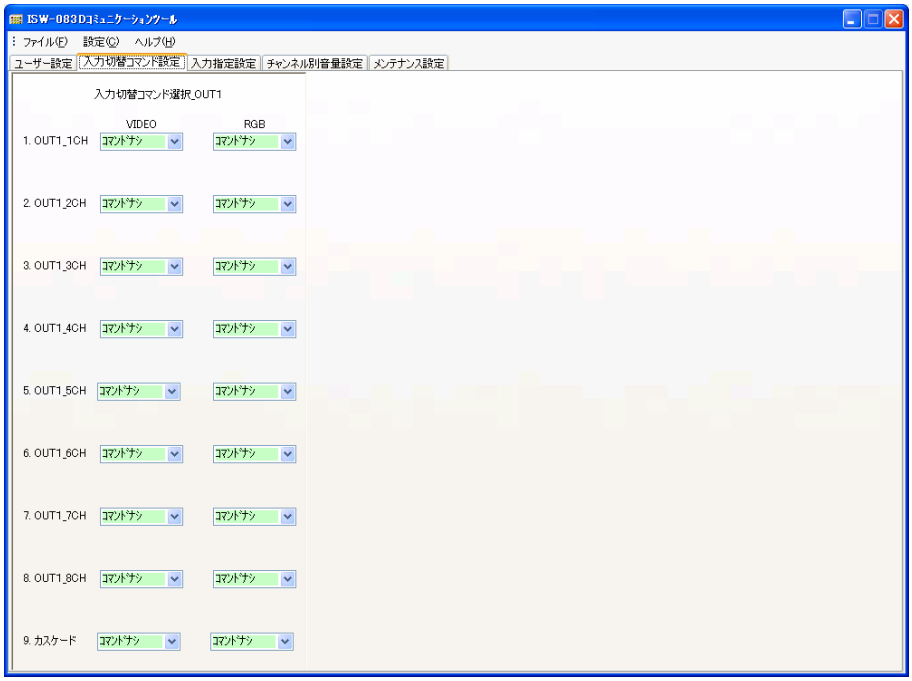
概要：
「個別切替モード」選択時には、ＶＩＤＥＯ映像とＲＧＢ映像へ個別に入力切替コマンドを設定することができます。
「連動動切替モード」選択時には、ＶＩＤＥＯ映像かＲＧＢ映像へ入力切替コマンドを設定することができます。

※ユーザ設定の［ １．動作モード ］が「個別切替」か「連動切替」によって表示される画面が変わります。
又、ユーザー設定の［ ３．外部接続機器_OUT１ ］、［ ４．外部接続機器_OUT２ ］、［ ５．外部接続機器_OUT３ ］を「有り」に選択することによりそれぞれに対応した表示に切り替ります。

入力切替コマンド設定初期画面

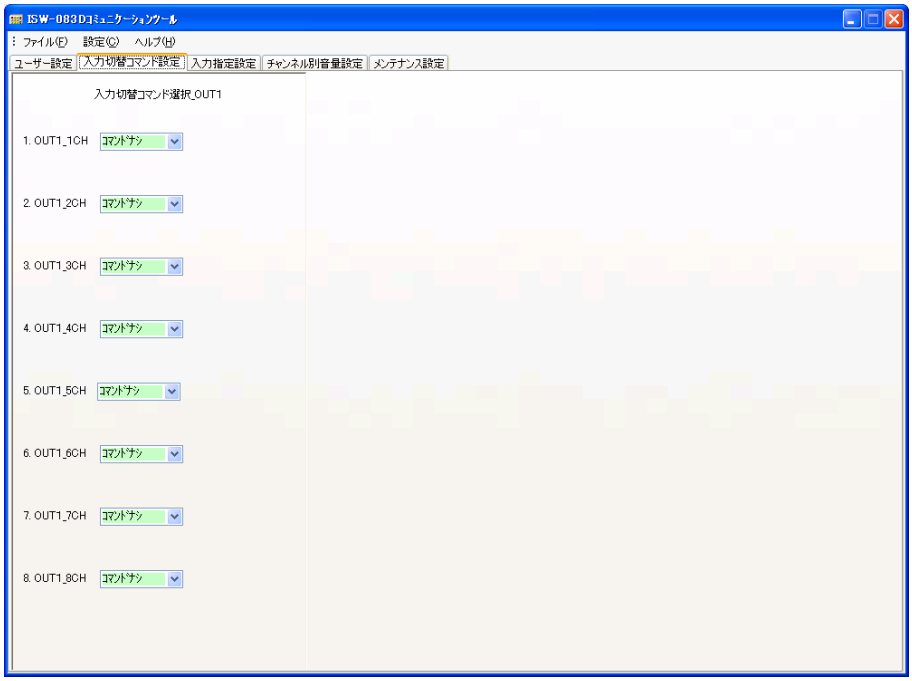


ユーザー設定の［ １．動作モード ］を「個別切替」、［ ３．外部接続機器_OUT1 ］を「有り」に選択した場合の画面



3. 設定方法

ユーザー設定の［ １．動作モード ］を「連動切替」、［ ３．外部接続機器_OUT1 ］を「有り」に選択した場合の画面



［［　入力切替コマンドの選択_ＯＵＴ１　］］
［　ＯＵＴ１_１ＣＨ　］

コマンドナシ　　：ＣＨ１スイッチを押した場合、ＯＵＴ１と接続される外部接続機器の入力端子の切替指定は行わない設定です。

ＲＧＢ１　　：ＣＨ１スイッチを押した場合、ＯＵＴ１と接続される外部接続機器の入力端子をＲＧＢ１へ切替える設定です。

ＲＧＢ２　　：ＣＨ１スイッチを押した場合、ＯＵＴ１と接続される外部接続機器の入力端子をＲＧＢ２へ切替える設定です。

ＶＩＤＥＯ１　　：ＣＨ１スイッチを押した場合、ＯＵＴ１と接続される外部接続機器の入力端子をＶＩＤＥＯ１へ切替える設定です。

ＶＩＤＥＯ２　　：ＣＨ１スイッチを押した場合、ＯＵＴ１と接続される外部接続機器の入力端子をＶＩＤＥＯ２へ切替える設定です。

オプション１、オプション２　：カスタムソフトにより異なります。

〈設定方法〉
設定欄の右端にある下矢印をクリックして中から該当設定値を選択してください。
尚、設定欄カラーはデフォルト設定値に関してはグリーンで表示、それ以外に関してはピンクで表示されます。

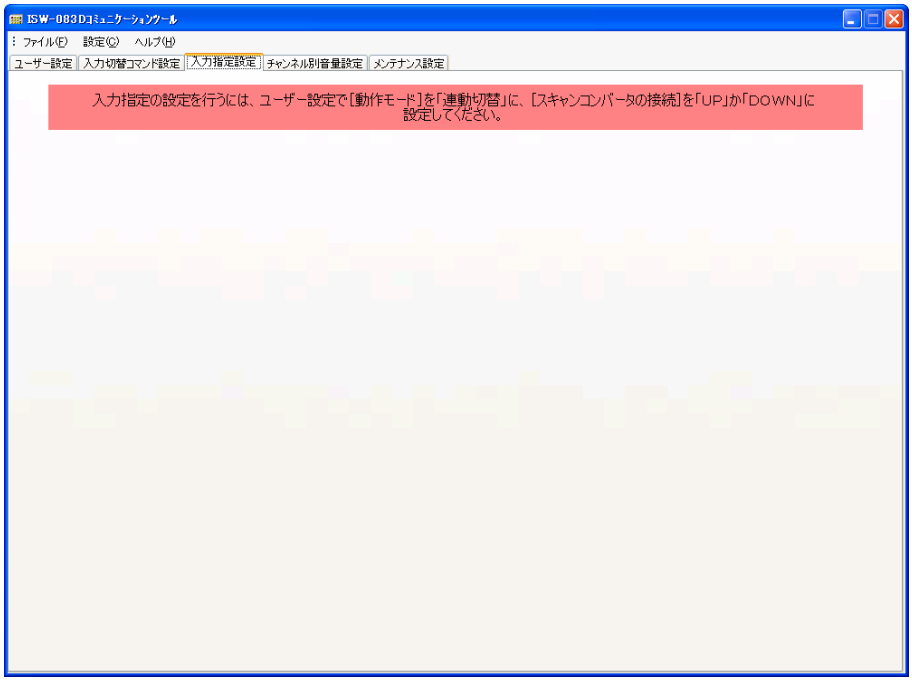
［［ 入力切替コマンドの選択_ＯＵＴ１ ］］の［ ＯＵＴ１_２ＣＨ ］～［ ＯＵＴ１_８ ］
［［ 入力切替コマンドの選択_ＯＵＴ２ ］］の［ ＯＵＴ２_１ＣＨ ］～［ ＯＵＴ２_８ ］
［［ 入力切替コマンドの選択_ＯＵＴ３ ］］の［ ＯＵＴ３_１ＣＨ ］～［ ＯＵＴ３_８ ］
に関しては上記と同様の設定内容です。

３－４．入力指定設定

概要：
「連動切替モード」選択時に、スキャンコンバータの入力指定を行う設定です。

※ ユーザ設定の［　１．動作モード ］が「連動切替」で
［ １８．スキャンコンバータの接続_ＯＵＴ１ ］、［ １９．スキャンコンバータの接続_ＯＵＴ２ ］、
［ ２０．スキャンコンバータの接続_ＯＵＴ３ ］を、「ＵＰ」か「ＤＯＷＮ」に選択することによりそれぞれに対応した表示に切り替ります。

入力指定設定初期画面



ユーザー設定の［　１．動作モード ］を「連動切替」、［ １８．スキャンコンバータの接続_OUT1 ］、［ １９．スキャンコンバータの接続_OUT２］を「ＵＰ」に選択した場合の画面

3. 設定方法

ユーザー設定の［　１．動作モード］を「連動切替」、［ １８．スキャンコンバータの接続_OUT1 ］、［ １９．スキャンコンバータの接続_OUT２ ］、［ ２０．スキャンコンバータの接続_OUT３ ］を「UP」に選択した場合の画面

［［　スキャンコンバータ使用時の入力指定_OUT１　］］
［　OUT１_１CH　］

ＶＩＤＥＯ　　：ＣＨ１に入力された信号がＶＩＤＥＯ信号である場合に選択します。

ＲＧＢ　　：ＣＨ１に入力された信号がＲＧＢ信号である場合に選択します。

〈設定方法〉
設定ボタンをクリックして該当する設定値を選択します。
尚、ボタンカラーはデフォルト設定値に関してはグリーンで表示、それ以外に関しては、ピンクで表示されます。

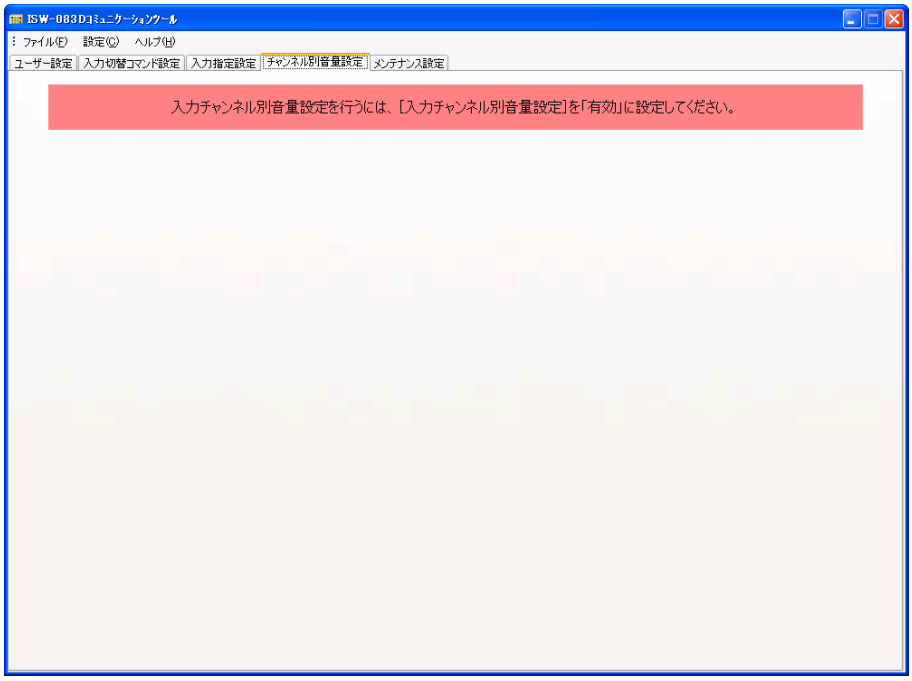
［［ スキャンコンバータ使用時の入力指定_OUT１ ］］の［ OUT１_２CH ］～［ OUT１_８ ］
［［ スキャンコンバータ使用時の入力指定_OUT２ ］］の［ OUT２_１CH ］～［ OUT２_８ ］
［［ スキャンコンバータ使用時の入力指定_OUT３ ］］の［ OUT３_１CH ］～［ OUT３_８ ］
に関しては上記と同様の設定内容です。

３－５．チャンネル別音量設定

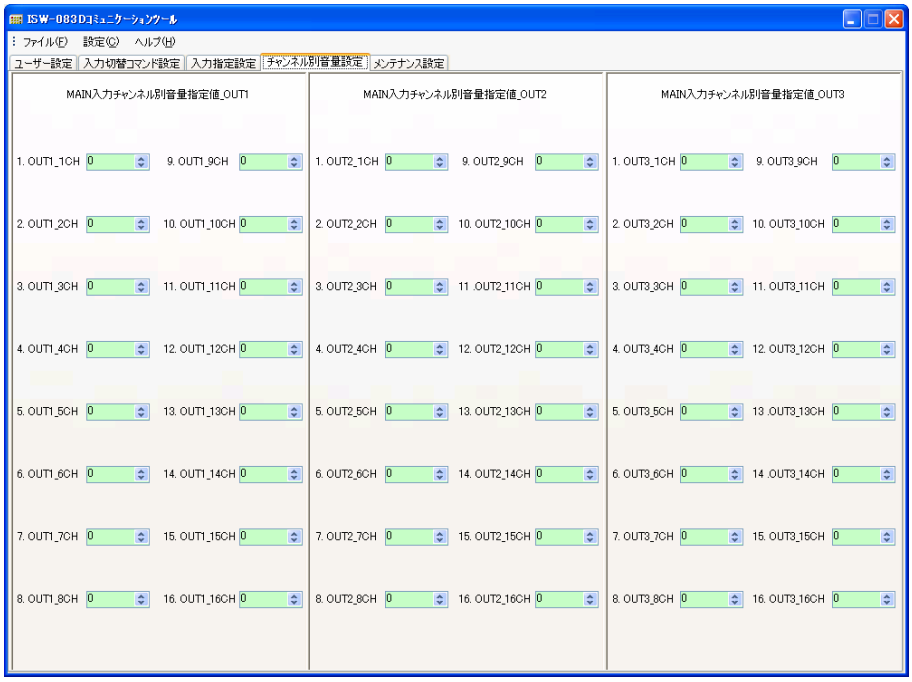
概要：
ＭＡＩＮ入力のチャンネル別に、音量を指定する設定です。

※ユーザー設定の［ １７．入力チャンネル別音量設定］が「無効」か「有効」によって表示される画面が変わります。

チャンネル別音量設定の初期画面



ユーザー設定の［ １７．入力チャンネル別音量設定 ］を「有効」に選択した場合の画面



［［ MAIN入力チャンネル別音量指定値 ］］
［ 1．OUT1_1CH ］

〈設定方法〉
設定欄の右端にある矢印をクリックして指定値の上げ下げを行ってください。
尚、設定欄カラーはデフォルト設定値に関してはグリーンで表示、それ以外に関してはピンクで表示されます。

［［ MAIN入力チャンネル別音量指定値_OUT１ ］］の［ OUT1_2CH ］～［ OUT1_16 ］
［［ MAIN入力チャンネル別音量指定値_OUT２ ］］の［ OUT2_1CH ］～［ OUT2_16 ］
［［ MAIN入力チャンネル別音量指定値_OUT３ ］］の［ OUT3_1CH ］～［ OUT3_16 ］
に関しては上記と同様の設定内容です。

３－６．メンテナンス設定

概要：
メンテナンスに関する設定です。

［　１．OPTIONオプション1 動作仕様 ］～　［　６．OPTIONオプション６ 動作仕様］
オプションスイッチの点灯動作を指定します。

モーメンタリー　　：押した時のみ点灯します。

オルタネート　　：１度押すと点灯し、再度押すと消灯します。

［　７．本体／リモートユニットボリューム同時操作許可 ］
専用リモートユニット（ＲＣ－０８３Ｄ）接続時のボリューム操作の許可設定です。

両方許可　　：本体とリモートユニットでボリュームの操作が可能です。

リモートのみ　　：リモートユニットのみボリュームの操作が可能です。

［　8. STAND BY LED点灯可否 ］

点灯　　：スタンバイ時に本体のSTND BY LED を点灯させます。

消灯　　：スタンバイ時に本体のSTND BY LED をさせます。

［　９．電源コントローラーＯＦＦタイミング ］
電源コントローラーを接続した場合、本体電源をＯＦＦする際に電源コントローラをＯＦＦするタイミングを指定します。

クーリング後　　：本体電源がＯＦＦされ、外部接続機器のＯＦＦ処理が終了した時。

クーリング開始時　：本体電源がＯＦＦされ、外部接続機器のＯＦＦ処理が開始された時。

［ １０．ＯＵＴ１，２，３連動選択 ］
入力切替を連動して行う設定です。

連動しない　　：ＯＵＴごとの入力切替を行います。

ＯＵＴ２の入力切替をＯＵＴ１に連動する
　　：ＯＵＴ１とＯＵＴ２の入力切替が連動して切替わります

ＯＵＴ３と入力切替をＯＵＴ１に連動する
　　：ＯＵＴ１とＯＵＴ３の入力切替が連動して切替わります

ＯＵＴ２、ＯＵＴ３の入力切替をＯＵＴ１に連動する
　　：ＯＵＴ１、ＯＵＴ２、ＯＵＴ３の入力切替が連動して切替わります

ＯＵＴ３の入力切替をＯＵＴ２に連動する
　　：ＯＵＴ２とＯＵＴ３の入力切替が連動して切替わります

［ １１．外部接続機器の電源連動選択 ］
外部接続機器の電源操作を連動して行う設定です。

連動しない　　：ＯＵＴごとの電源操作を行います。

ＯＵＴ２の電源をＯＵＴ１に連動する
　　：ＯＵＴ１の電源操作を行うと連動してＯＵＴ２の電源操作を行います。

ＯＵＴ３の電源をＯＵＴ１に連動する
　　：ＯＵＴ１の電源操作を行うと連動してＯＵＴ３の電源操作を行います。

ＯＵＴ２、ＯＵＴ３の電源をＯＵＴ１に連動する
　　：ＯＵＴ１の電源操作を行うと連動してＯＵＴ２，ＯＵＴ３の電源操作を行います。

ＯＵＴ３の電源をＯＵＴ２に連動する
　　：ＯＵＴ３の電源操作を行うと連動してＯＵＴ２の電源操作を行います。

［ １２．１３．１４　外部接続機器起動時に切替コマンド初回のみ送信 ］
外部機器を接続した場合、入力切替コマンドを外部接続機器がＯＮした時に１回だけ送信する設定です。

無効　　：入力切替コマンドを通常通り送信します。

有効　　：入力切替コマンドを外部接続機器がＯＮした時に１回だけ送信して、その後送信しません。

［　１５．選択音声用７セグＬＥＤ表示指定 ］
ＭＡＩＮの音量値を示す７セグＬＥＤの状態を、入力切替ごとに切替えるか固定するかの設定します。

切替に連動　　：入力切替を行ったＯＵＴの音量値を表示します。

ＭＡＩＮ１固定　：入力切替を行っても表示はＭＡＩＮ１固定です。

ＭＡＩＮ２固定　：入力切替を行っても表示はＭＡＩＮ２固定です。

ＭＡＩＮ３固定　：入力切替を行っても表示はＭＡＩＮ３固定です。

［　１６．各ＶＯＬＵＭつまみ押下時の切替 ］
ＶＯＬＵＭつまみ押下時の音量値切替を有効にする設定です。

有効　　：音量値の切替を有効にします。

無効　　：音量値の切替を無効にします。

［　１７．オプション連動信号区別　］
オプション連動位置を逆にする設定です。
※ ユーザ設定の［　１０．オプションスイッチ連動種別 ］、［　１１．１２．１３．外部接続機器のＯＮ／ＯＦＦでのオプション連動 ］を設定する必要があります。

１：ＤＯＷＮ　３：ＵＰ　：［　１０．オプションスイッチ連動種別 ］を「ＯＵＴ１とＯＵＴ２連動」選択時
外部接続機器ＯＵＴ１のＯＮ/ＯＦＦ　⇒　オプションスイッチ１/３
外部接続機器ＯＵＴ２のＯＮ/ＯＦＦ　⇒　オプションスイッチ４/６
外部接続機器ＯＵＴ３のＯＮ/ＯＦＦ　⇒　オプション連動はできません。

「ＯＵＴ１とＯＵＴ３連動」選択時
外部接続機器ＯＵＴ１のＯＮ/ＯＦＦ　⇒　オプションスイッチ１/３
外部接続機器ＯＵＴ２のＯＮ/ＯＦＦ　⇒　オプションスイッチ４/６
外部接続機器ＯＵＴ３のＯＮ/ＯＦＦ　⇒　オプション連動はできません。

「ＯＵＴ２とＯＵＴ３連動」選択時
外部接続機器ＯＵＴ１のＯＮ/ＯＦＦ　⇒　オプション連動はできません。
外部接続機器ＯＵＴ２のＯＮ/ＯＦＦ　⇒　オプションスイッチ１/３
外部接続機器ＯＵＴ３のＯＮ/ＯＦＦ　⇒　オプションスイッチ４/６

「３台連動」以外を選択時
外部接続機器ＯＵＴ１のＯＮ/ＯＦＦ　⇒　オプションスイッチ１/４
外部接続機器ＯＵＴ２のＯＮ/ＯＦＦ　⇒　オプションスイッチ２/５
外部接続機器ＯＵＴ３のＯＮ/ＯＦＦ　⇒　オプションスイッチ３/６

１：ＵＰ　３：ＤＯＷＮ　：［ １０．オプションスイッチ連動種別 ］を「ＯＵＴ１とＯＵＴ２連動」選択時
外部接続機器ＯＵＴ１のＯＮ/ＯＦＦ　⇒　オプションスイッチ３/１
外部接続機器ＯＵＴ２のＯＮ/ＯＦＦ　⇒　オプションスイッチ６/４
外部接続機器ＯＵＴ３のＯＮ/ＯＦＦ　⇒　オプション連動はできません。

「ＯＵＴ１とＯＵＴ３連動」選択時
外部接続機器ＯＵＴ１のＯＮ/ＯＦＦ　⇒　オプションスイッチ３/１
外部接続機器ＯＵＴ２のＯＮ/ＯＦＦ　⇒　オプションスイッチ６/４
外部接続機器ＯＵＴ３のＯＮ/ＯＦＦ　⇒　オプション連動はできません。

「ＯＵＴ２とＯＵＴ３連動」選択時
外部接続機器ＯＵＴ１のＯＮ/ＯＦＦ　⇒　オプション連動はできません。
外部接続機器ＯＵＴ２のＯＮ/ＯＦＦ　⇒　オプションスイッチ３/１
外部接続機器ＯＵＴ３のＯＮ/ＯＦＦ　⇒　オプションスイッチ６/４

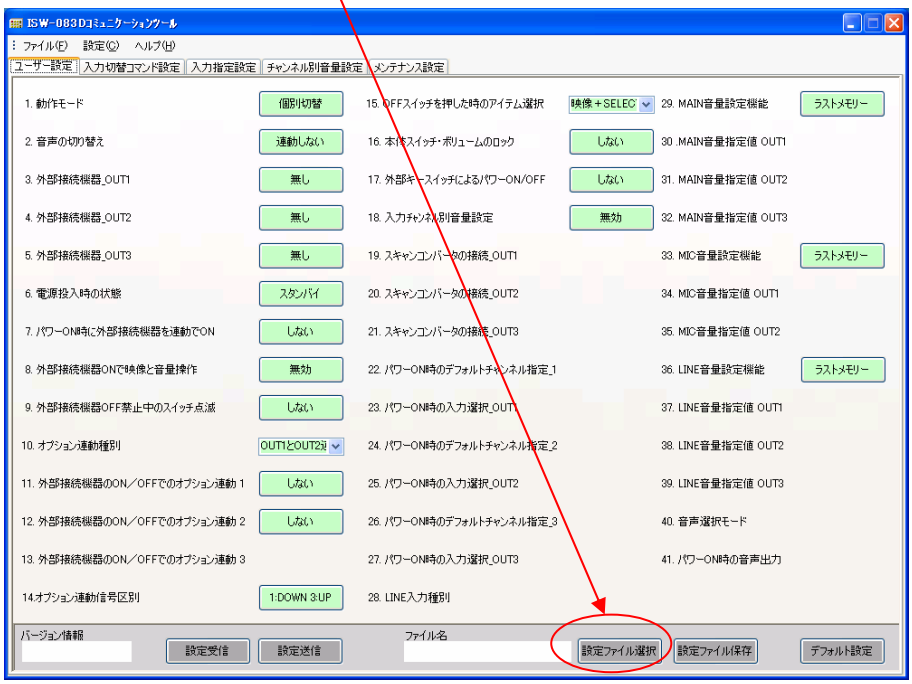
「３台連動」を選択時
外部接続機器ＯＵＴ１のＯＮ/ＯＦＦ　⇒　オプションスイッチ４/１
外部接続機器ＯＵＴ２のＯＮ/ＯＦＦ　⇒　オプションスイッチ５/２
外部接続機器ＯＵＴ３のＯＮ/ＯＦＦ　⇒　オプションスイッチ６/３

5. 設定ファイル選択/保存

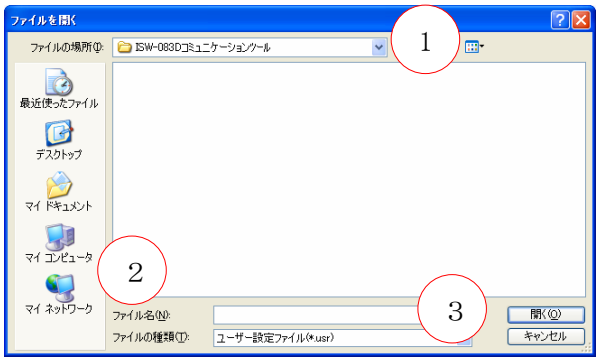
5－1．設定ファイルの選択

概要：
コミュニケーションツールの設定ファイルを読み込みます。

（1）「ユーザー設定」タブをクリックし､ユーザー設定画面を表示させてください。
（2）画面下の「設定ファイル選択」ボタンをクリックしてください。



（3）「ファイルを開く」画面が表示されますので、①「ファイルの場所」で、該当のフォルダを選択して、
②ファイル名で、拡張子が「usr」ファイルを選択してください。
③「開く」ボタンをクリックしてください。



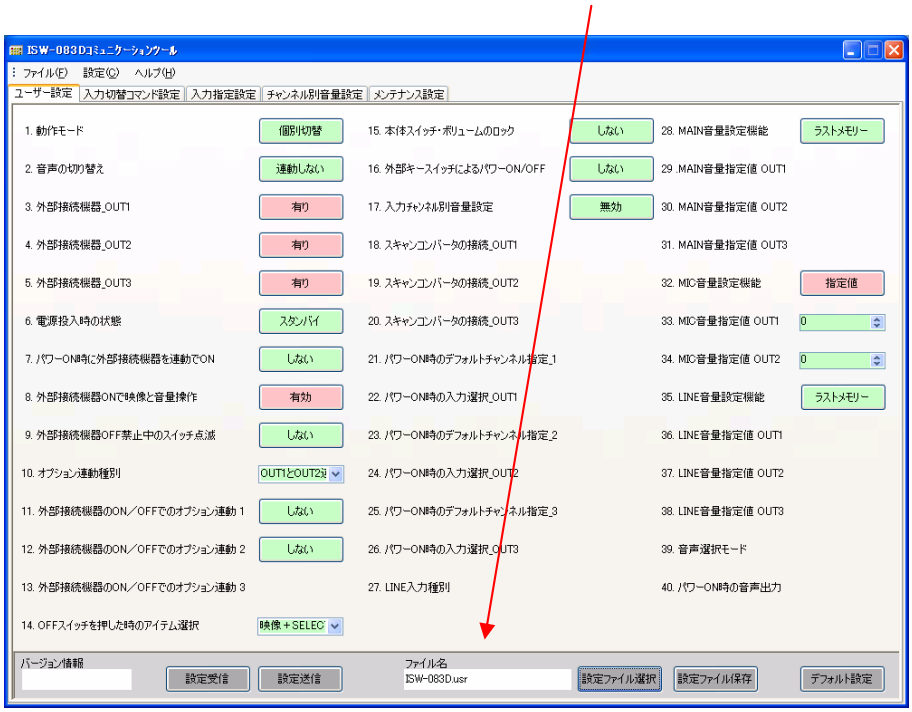
（4）その後下記のメッセージが表示されます。
「ファイルの読込みに失敗」メッセージが表示された場合は、ファイルを確認してください。

ファイルの読込みに成功画面。

ファイルの読込みに失敗画面。

5. 設定ファイル選択/保存

（4）ファイル読込みに成功すると、画面下の「ファイル名」に読み込んだファイル名が表示されます。

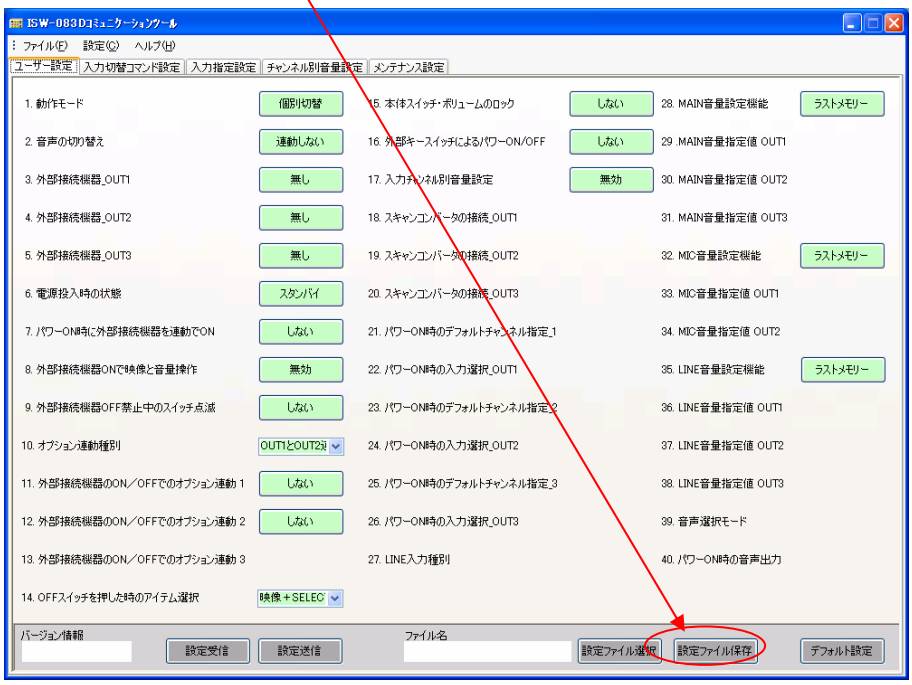


5. 設定ファイル選択/保存

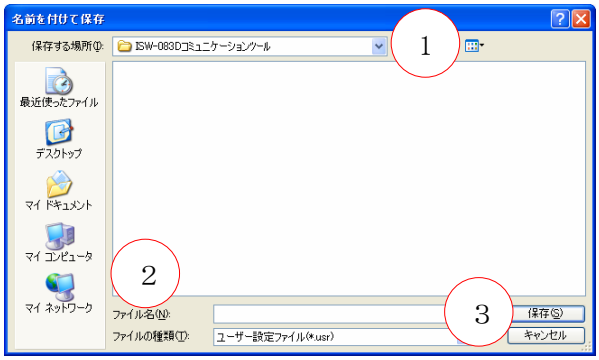
５－２．設定ファイルの保存

概要：
コミュニケーションツールで設定した内容をファイルへ保存します。

（1）　「ユーザー設定」タブをクリックし､ユーザー設定画面を表示させてください。
（2）画面下の「設定ファイル保存」ボタンをクリックしてください。



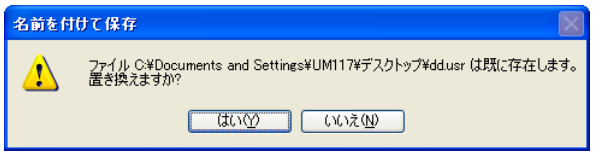
（3）「名前を付けて保存」画面が表示されますので、①「保存する場所」で、保存したいフォルダを選択して、
②ファイル名で、ファイル名を入力してください。拡張子usrは自動で付加されます。
③の「保存」ボタンをクリックしてください。



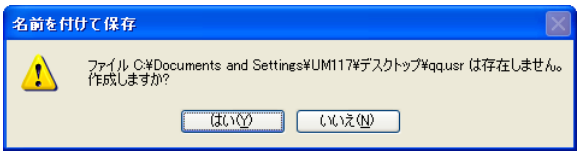
（4）その後、ファイルが既に存在する場合は上書きを確認するメッセージ、ファイルが存在しない場合はファイルを新しく作成するメッセージが表示されます。それぞれ「はい」ボタンをクリックすればファイルが作成され、「ファイルの書き込みに成功」のメッセージが表示されます。

5. 設定ファイル選択/保存

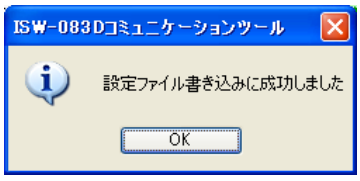
ファイルが存在する場合の画面。



ファイルが存在しない場合の画面。



ファイルの書き込みに成功の画面。



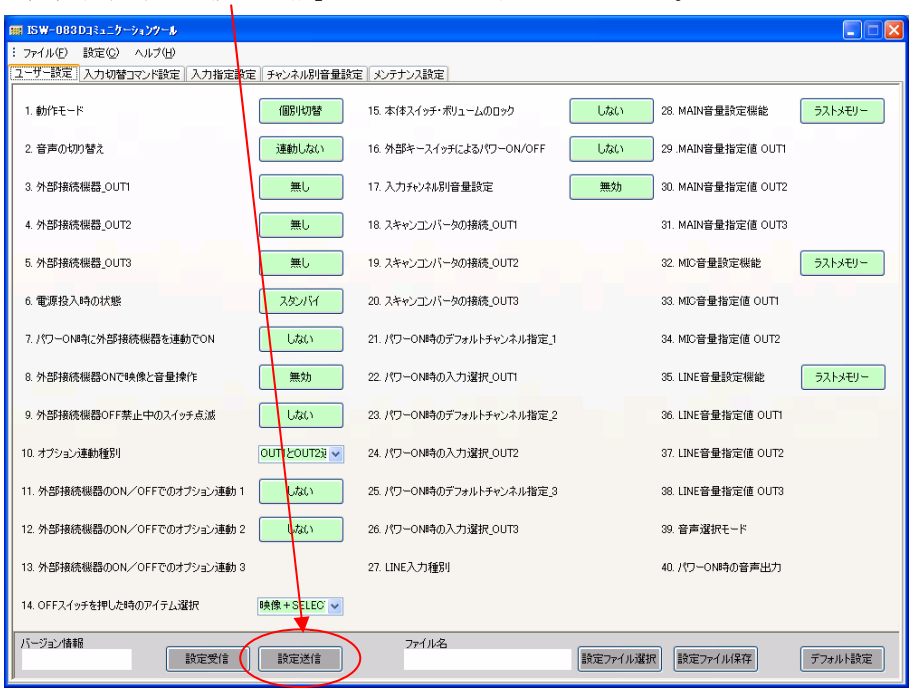
6．設定送信／設定受信

6－1．設定送信

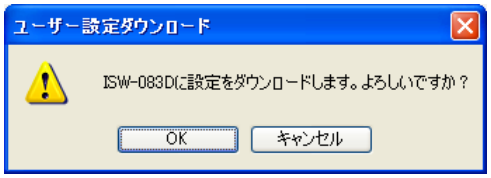
概要：
コミュニケーションツールで設定した内容をＩＳＷ－０８３Ｄへダウンロードします。

（1）「ユーザー設定」タブをクリックし､ユーザー設定画面を表示させます。
※設定送信を行うには、ＩＳＷ－０８３Ｄはスタンバイ状態にしてください。

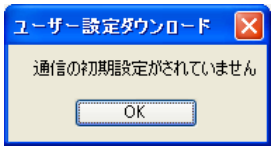
（2）画面下の「設定送信」ボタンをクリックてください。

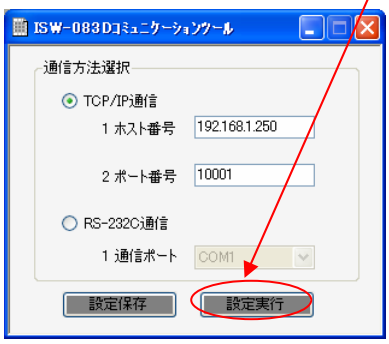


（3）下記のメッセージが表示されますので、「ＯＫ」ボタンをクリックしてください。

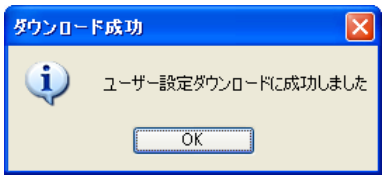


（4）コミュニケーションツール起動時に「Connect.xml」がないか、「設定」→「通信設定」通信方法選択画面の「設定実行」ボタンがクリックされていない場合は、下記のメッセージが表示されすので、「設定実行」ボタンをクリックてください。
※詳しくは「４．通信設定」をご覧ください。



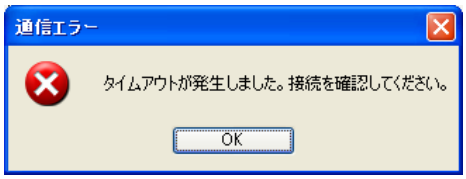


（5）設定送信に成功すると下記メッセージが表示されます。



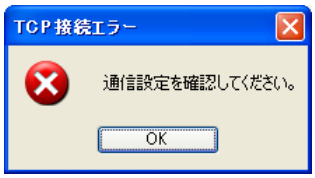
（6）設定送信時に表示されるエラーメッセージには、下記のものがあります。それぞれのメッセージにしたがってください。

ＩＳＷ－０８３Ｄからの応答がない場合のメッセージ



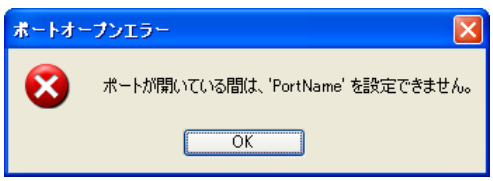
ＩＳＷ－０８３ＤがパワーＯＮ状態のメッセージ

通信設定が誤っている場合のメッセージ



通信設定で存在しないＣＯＭポートを選択している場合のメッセージ

データの送信中に「設定送信」ボタンがクリックさせた場合のメッセージ



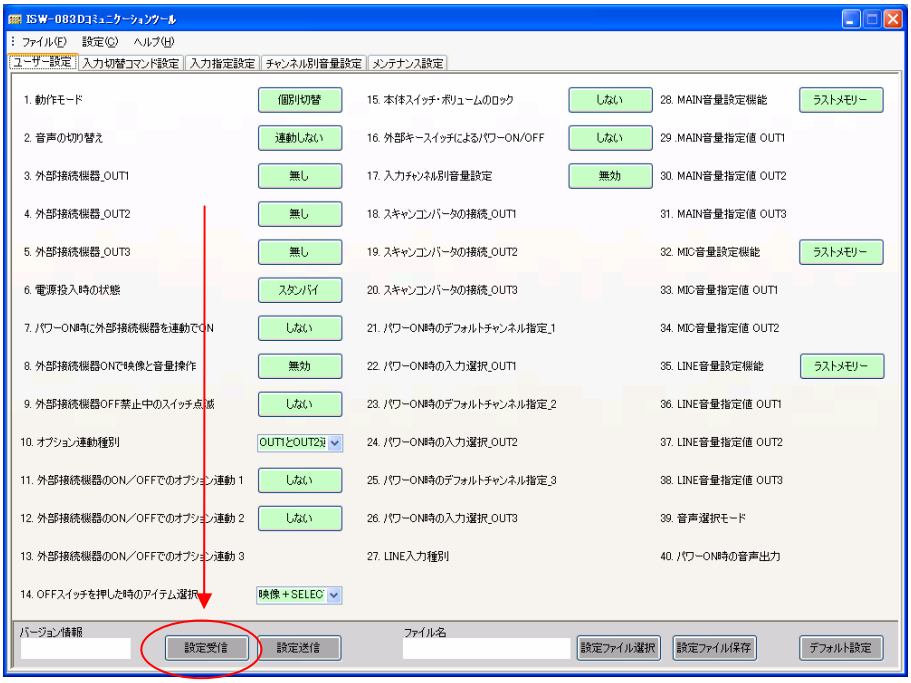
6．設定送信／設定受信

6－2．設定受信

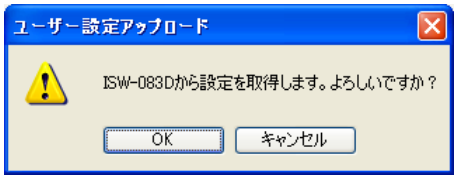
概要：
ＩＳＷ－０８３Ｄの設定内容をコミュニケーションツールへアップロードします。

（1）「ユーザー設定」タブをクリックし､ユーザー設定画面を表示させます。
※設定受信を行うには、ＩＳＷ－０８３Ｄはスタンバイ状態にしてください。

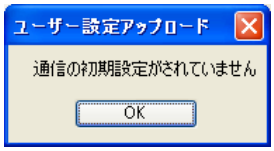
（2）画面下の「設定受信」ボタンをクリックてください。

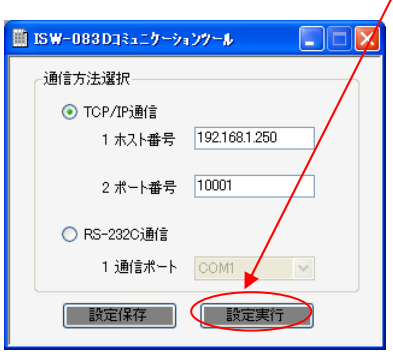


（3）下記のメッセージが表示されますので、「ＯＫ」ボタンをクリックしてください。

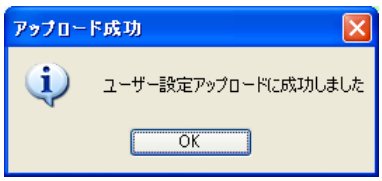


（4）コミュニケーションツール起動時に「Connect.xml」がないか、「設定」→「通信設定」の通信方法選択画面で「設定実行」ボタンがクリックされていない場合は、下記のメッセージが表示されますので、「設定実行」ボタンをクリックてください。
詳しくは「４．通信設定」をご覧ください。





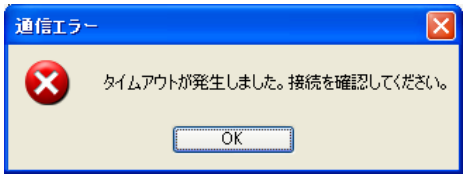
（5）設定受信に成功すると下記メッセージが表示されます。



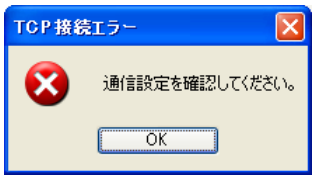
（6）設定受信に成功すると、画面左下の「バージョン情報」にＩＳＷ－０８３Ｄのバージョン情報が表示されます。

（6）設定受信時に表示されるエラーメッセージには、下記のものがあります。それぞれのメッセージにしたがってください。

ＩＳＷ－０８３Ｄからの応答がない場合のメッセージ



通信設定が誤っている場合のメッセージ



通信設定で存在しないＣＯＭポートを選択している場合のメッセージ

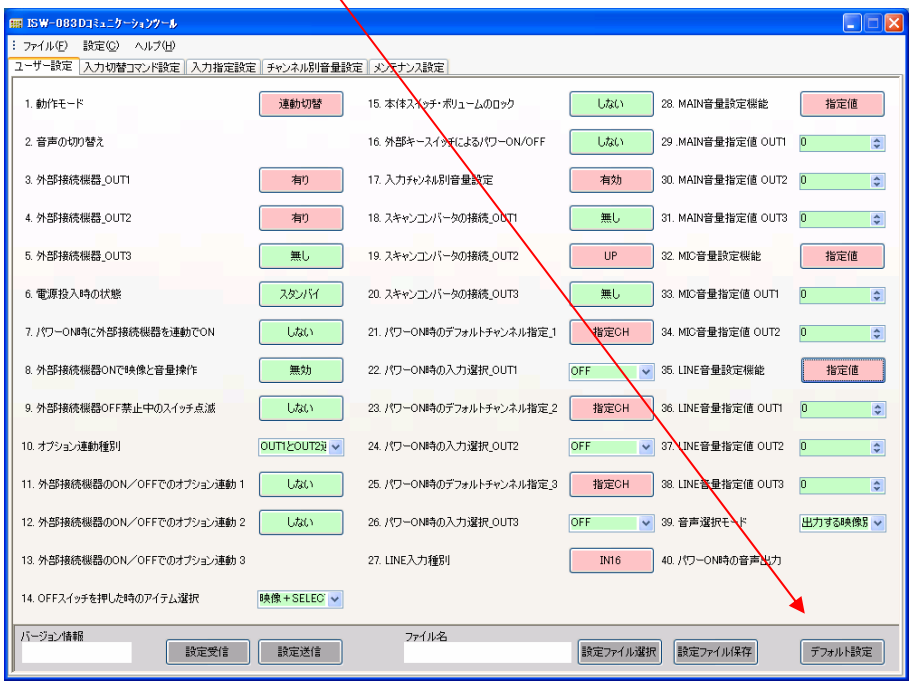
データの送信中に「設定受信」ボタンがクリックさせた場合のメッセージ

7．デフォルト設定

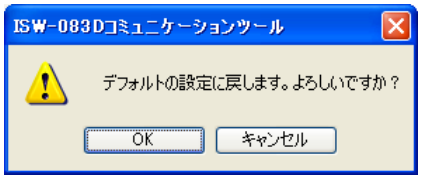
7－1．デフォルト設定

概要：
コミュニケーションツールで設定した内容をデフォルトの値に戻す設定です。「ユーザー設定」、「入力切替コマンド設定」、「入力指定設定」、「チャンネル別音量設定」の全ての項目がデフォルトに戻ります。
※一度デフォルト設定を行うと、設定した内容は失われてしまいます。

（1）「ユーザー設定」タブをクリックし､ユーザー設定画面を表示させます。
（2）画面下の「デフォルト設定」ボタンをクリックしてください。



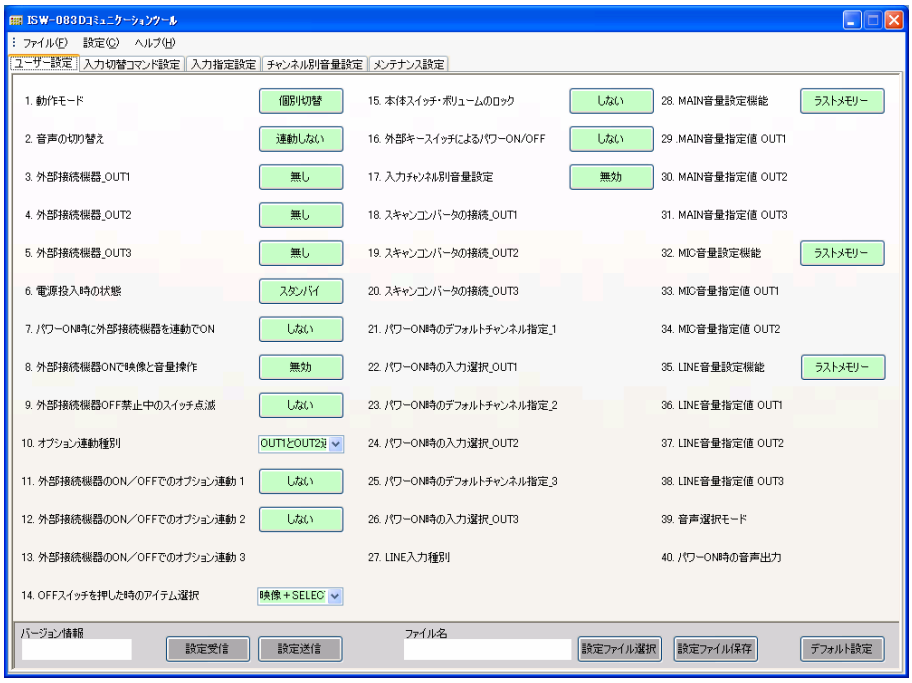
（3）下記のメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。



7. デフォルト設定

（4）起動時の状態に戻ります。

デフォルト設定実行画面



8．ツールの終了

8－1．ツールの終了

概要：
コミュニケーションツールの終了の方法です。

（1）本ツールを終了する場合は、画面右上の☒ボタンをクリックするか、画面左上の[ファイル] → [終了] ボタンをクリックします。
下記メッセージが表示されるので「はい」をクリックして、コミュニケーションツールを終了してください。